

道の駅だより

MICHINOEKI

震災
特別号

発行：東北「道の駅」連絡会

平成23年3月11日、千年に一度という大地震に襲われた東日本

地震、津波、原発事故は、東北の道の駅にも大きな被害をもたらしました。
でも、東北の道の駅はこの大震災に負けません。
発生から100日あまりたった道の駅をレポートします。

マグニチュード9.0の大地震

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源にした「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。それに伴う津波、余震による被害や原発事故は、東日本大震災として歴史に大きく刻まれることでしょう。



陸前高田市。○印で囲まれたのが道の駅高田松原



道の駅にも大きな被害

今回の震災が引き起こした大きな被害については、皆さんにも新聞やテレビなどを通して詳しく伝わっていると思います。ここでは東北の道の駅に限って、被害の様子からその支援、復興の状況などをお伝えします。

地震発生直後、東北139の道の駅のほとんどで電気・ガス・水道が止まりました。なかには自家発電設備があり、緊急稼働したところもあります。幸いにも地震そのもので建物や施設に、決定的な被害はなかったようです。しかし、地震発生30分後あたりから、太平洋側の海岸に大津波が押し寄せ、4か所の道の駅が津波に直撃されました。

岩手県宮古市の「みやこ」、陸前高田市の「高田松原」、宮城県気仙沼市の「大谷海岸」、福島県いわき市の「よつくら港」です。この4駅は海岸からの距離がわずかしくなく、施設が低い土地に建っていたことが共通しています。

岩手県の「のだ」、「たのはた」、「たろう」、「やまだ」、「さんりく」も海岸からの距離がわずかしくありませんでしたが、施設が高いところにあったため無事でした。とはいえ、「のだ」では道の駅のすぐ前まで海水が来て、港にあった製塩施設が波にさらわれてしまいました。

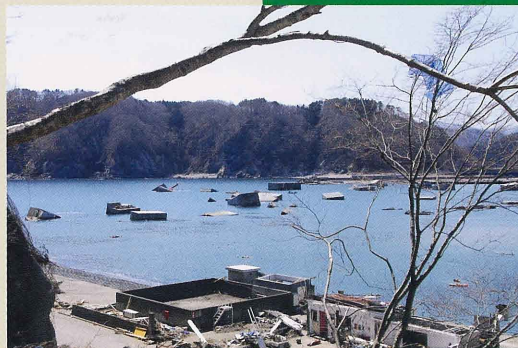
また原発事故で営業休止に追い込まれたのが、福島県の「南相馬」と「ならは」です。「南相馬」は6月1日から再開しましたが、「ならは」は再開の見通しが立っていません。

幸いにも道の駅関係者で亡くなった方や大怪我をした人はいませんでしたが、家が流されてしまった職員は20名以上います。

震災の直後から各地の道の駅では、被災者の受入れをしました。炊き出しや食料の提供のほか、情報収集にも力をそそぎ、道の駅が防災拠点として重要な位置にあることを、改めて認識させてくれました。



野田村もガレキだらけとなった



津波で破壊された田老の防波堤

岩-7 のだ ●

岩-9 たのはた ●

岩-8 たろう ●

岩-28 みやこ ●

岩-16 やまだ ●

岩-18

さんりく ●

岩-2

高田松原 ●

宮-5 大谷海岸 ●

福-16
南相馬 ●

福-7
ならは ●

福-19
よつくら港 ●

津波の直撃を受けた4駅と、原発事故に巻き込まれた2駅。

すでに営業再開しているところと、残念ながらまだ見通しが立たないところがあります。

港の中にあった「みやこ」

道の駅施設は宮古港岸壁のすぐ横に建てていて、津波は2階まで押し寄せましたが、道の駅の利用者と職員は、宮古漁協ビルが建つ丘に逃げ無事でした。建物の外観には大きな被害は見えませんが、内部は壊滅的な被害を受けています。いまのところ再開のめどは立ってないようですが、各方面から再開を希望する声が上がっています。



岩-28 みやこ

松と共に津波の直撃を受けた「高田松原」

三角形をした印象深い建物ですが、海岸側のスロープには一番上まで階段があり、津波の際はそれで避難できるようになっていました。実際に今回の津波では階段を利用して、救われた人たちがいたそうです。建物内部はほぼ完全に破壊されてしまいました。まだ再開のめどは立っていませんが、一日も早く再オープンし、陸前高田復興のシンボルになってほしいものです。



岩-2 高田松原

宮-5 大谷海岸

日本一海水浴場に近い駅「大谷海岸」

キャッチフレーズにある“海との近さ”が災いし、津波は2階建ての屋上を越え、展望台下の4階付近まで押し寄せました。建物は持ちこたえてくれましたが、内部はひどい状態です。再開を望む声に押され、産直施設は応急復旧した飯店舗で、4月29日から営業しています。火曜日定休。



NPOが設立運営している「よつくら港」

四ツ倉漁港の港湾施設内に建っていた道の駅で、オープンからわずか1年3ヶ月で震災に襲われてしました。地震の直後、道の駅関係者の好判断でお客様を先導して高台に避難し、全員無事でした。津波で営業設備はことごとく流され、さらに流れてきた漁船がぶつかり、食堂部分が破壊されてしまったのが残念です。4月末から応急復旧した状態で土日営業。7月からは平日も営業再開しました。火曜日定休。



福-16 南相馬

福-7 ならは

福-19 よつくら港

警戒区域から免れた「南相馬」

施設被害はありませんでしたが、南相馬市は原発事故で「計画的避難区域」や「緊急時避難準備区域」などに指定されてしまいました。道の駅は原発から20キロ以上離れていましたが、町の人のほとんどが避難したため、営業休止を余儀なくされました。行方不明捜索や災害支援の人たちのため、駅長さんと一部の職員の方が1日3回、トイレ掃除をしてくださいました。6月1日から営業再開しています。



20キロ圏内に入ってしまった「ならは」

Jビレッジの近くにある「ならは」は、事故を起した原発からの距離20キロ圏に、ぎりぎり入ってしまいました。そのため事故後まもなく避難指示が出て避難。それ以来道の駅は封鎖されたままです。原発事故の後始末がこの情勢ですので、再開のめどは立っていません。一日も早く営業を再開し、道の駅の仲間に復活してもらいたいと願っています。



東北と

全国の

道の駅から支援が続々と!!

被災した道の駅や、風評被害に悩む道の駅に、全国各地の道の駅から支援が届いています。例えば、熊本県の物産フェアに東北道の駅ブースを作ってもらったり、日頃からつながりのある道の駅から道の駅へ個別の支援も実施。(岐阜県 道の駅・土岐美濃街道→道の駅・たろう、上品の郷へ。兵庫県 道の駅・あいおい白龍城→道の駅・上品の郷、大谷海岸などへ応援メッセージの横断幕や、物資の提供)など。このほかにもたくさんの支援が実現しています。



東北「道の駅」URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/koutsu/roadstation/index.html>

東北「道の駅」連絡会 URL <http://www.michinoeki-tohoku.com/>

i-mode <http://keitai.th.ezweb> <http://keitai.th>

※注意事項: ©「i-mode、アイモー

営業再開した道の駅には、 仲間の道の駅や、全国の道の駅、道の駅ファンから、 熱い支援の手が差し伸べられました。

大谷海岸 / よつくら港 / 南相馬 営業再開

宮-5 「大谷海岸」

再開を大きく手助けしたのが、宮城県の道の駅グループ※「農海林・ロード6」です。被災後まもなく再開に向けた検討を重ね、その熱意が再開を決定付けました。大谷海岸の周囲数キロには、津波のため商店が残っていません。そのため近隣の方々向けの生活用品も販売しています。



手前が再開した産直施設

※農海林ロード6（津山・大谷海岸・米山・林林館・上品の郷・みなみかた）

福-16 「南相馬」

地震発生から2ヵ月半の間、駐車場とトイレのみの利用でしたが、南相馬市民が戻り始めた6月1日から営業を再開しまし



福島県内の道の駅が南相馬に支援で駆け付けた

た。しかし、店頭に置くことが出来る地元野菜も種類が限られ、客足もまだまだです。大竹駅長さんは「一日も早くもとの状態に戻ることを願っています」と話してくれました。

福-19 「よつくら港」

道の駅としては全国的にも珍しいNPOによる設立・運営の道の駅で、借り入れ金返済のためにも一日も早い再開が必要でした。それを知った多くの人たちから支援の手が差し伸べられ、特に一番近い「ひらた」や、会津にある9つの道の駅（※あいつ「道の駅」交流会）と近隣の道の駅が協力しました。まだ仮オープンですが、7月からは毎日営業（火曜日は定休）しています。

道の駅で進めている「復興支援募金」から、「大谷海岸」と「よつくら港」に100万円ずつ支援金を渡しました。ご協力ありがとうございました。



近隣や会津の道の駅などから支援を受けた「よつくら港」

※あいつ「道の駅」交流会（たじま・喜多の郷・裏磐梯・会津柳津・にしあいつ・尾瀬街道みしま宿・しもごう・ばんだい・番屋）

道の駅



復興支援募金 スタート

震災被害のあった道の駅を支援するため、協力してくれる全国の道の駅に、募金箱を設置していただきました。実施主体は「東北道の駅復興支援委員会」で、「道の駅から道の駅へ、道の駅ファンから道の駅へ」が合言葉です。ご協力よろしくお願いします。



▼ 東北各地の道の駅からの応援



東北の「道の駅」情報

www.mlit.go.jp/road/i/michieki/index.html Yahoo!ケータイ <http://keitai.thr.mlit.go.jp/road/v/michieki/index.html>
www.mlit.go.jp/road/ez/michieki/index.html ●東北の「道の駅」ホームページは国土交通省東北地方整備局が運営しています。

ド]はNTTDコモの、「ezweb」はauの、「Yahoo!ケータイ」はソフトバンクの登録商標です。©本「道の駅」情報は、NTTDコモ、au、ソフトバンクとは関係ありません。





道の駅 新駅紹介



道の駅 産直リニューアル

国道294号

道の駅 季の里天栄

福-23

福島県岩瀬郡天栄村大里字天房50-1 TEL0248-81-1455

「道の駅・季の里天栄」は天栄村東部の農村地帯に、もとからあった産直施設に食堂を増設し、平成23年4月28日に「道の駅」としてオープンしました。新鮮な農産物を求めてくる消費者や観光客の方々に、村の歴史や文化施設の案内もしており、ゆったりとした雰囲気です。



- 道の駅メモ**
- 定休日：12/31、1/1
 - 駐車場：22台、身障者用1台
 - トイレ：10、身障者用1
 - 利用時間：生産物直売所 9:00~18:00
食堂 11:00~14:00
 - 施設概要：食堂、直売所
 - 特産品：天栄ヤコン、天栄米、天栄ネギ

周辺には村の主要施設が多く、隣接する天栄村文化伝承館までは散策コースを使って徒歩5分ほど。新たな道の駅は、都市との交流拠点となることが期待されています。

主要地方道秋田天王線

道の駅 てんのう

秋-14

秋田県潟上市天王字江川上谷地109-2 TEL018-878-6588

日本海に突き出た鹿角半島の付け根にある道の駅に、平成23年4月30日、大型産直施設「食堂くらら」がオープンしました。潟上市内の農家らが生産した野菜や山菜、フルーツ、海産物が並ぶ直売コーナーがメインとなっており、地域活性化のために潟上市の支援を受けて新設しました。



秋田県内でも最大級の産直施設となり、秋田市からも30分程度で行けるという立地条件の良さもあり、オープン当初から大ににぎわっています。

道の駅メモ
産直センター 9:00~18:00

“東北・北海道「道の駅」元気回復スタンプラリー”

7月1日から9月30日まで、両地域の「道の駅」が連携し、東北・北海道「道の駅」元気回復スタンプラリーを開催します。東日本大震災で被災された東北・北海道地区の人々を励まし、「自粛ムード」により低迷しているドライブ観光や旅行などを盛り上げ、「両地区の元気回復」を支援するために実施します。東北、北海道地区のそれぞれのスタンプ帳をもって道の駅をまわるこのスタンプラリー。応募者には抽選で、「東北地区「道の駅」の特産品」があたるチャンスもあります。この機会に東北、北海道を回り、元気回復のお手伝いをしましょう！

▶ 詳しい参加方法 [道の駅に掲示しているポスターや、北海道地区「道の駅」連絡会にお問合せください。](#)

TEL011-736-8577 <http://www.hokkaido-michinoeki.jp/index.htm>

道の駅復興支援スタンプラリー スタート

4月28日から東北道の駅スタンプラリーが始まりました。今年は震災復興をうたったラリーとなっています。スタンプを押すチャレンジブックは300円。うち100円は災害復興支援金として、災害を受けた道の駅の復興に使います。期間は2012年1月10日まで。ふるっての参加をお待ちしております。あわせて「東北「道の駅」ロードマップ」も定価200円で販売しております。



「大谷海岸」「南相馬」「よつくら港」もスタンプラリーに参加しています。

HP、ブログ、ツイッターで道の駅支援

今回の震災後、ツイッターとブログで「東北「道の駅」震災情報プラットフォーム」を立ち上げ、道の駅の被災状況から、復興の取組みの様子を伝えてきました。現在は、道の駅のイベント情報も「イベントカレンダー」で発信中。さらに全国から寄せられる様々な支援の声を紹介するマッチングサイトも、7月からオープンしました。

ぜひ一度、東北「道の駅」連絡会のホームページをご覧ください。



東北「道の駅」連絡会 <http://www.michinoeki-tohoku.com/>

！平成22年5月より、東北「道の駅」連絡会事務局の連絡先が変わりました。

東北「道の駅」連絡会事務局

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目13-32 オーロラビル606
電話022-398-5518 FAX022-722-3381
Eメール eki@tohoku-michi.or.jp